

令和3年1月27日

薬局等開設者様

京都府薬剤師連盟をご理解頂くために

京都府薬剤師連盟 会長 河上 英治

日本病院薬剤師連盟京都府支部長 友金 幹視

京都府薬剤師連盟は、公益的法人である京都府薬剤師会では行えない政治活動などを行うための組織であり、薬剤師連盟の目指す目的は薬剤師会と同じであることをご理解願います。

薬剤師連盟の主な活動成果は、医薬分業の実現、学校薬剤師の法的整備、薬学教育6年制の実現、薬局を医療法に「医療提供施設」として位置付けなどがあります。近年では、診療報酬・調剤報酬の公平な改定の実現、調剤基本料の適正な評価の取り組みや、薬剤師公務員俸給表の是正、患者のための薬局ビジョンの推進、地域包括ケアシステムを通じたチーム医療等における薬剤師の参画活用の推進、医療計画・地域医療構想等における薬剤師の役割の明記、医療安全管理体制等の整備などがあり、直近では、医薬品医療機器等法の改正があります。

上記以外で現在挙げている要望としては、災害薬事コーディネーターの養成、モバイルファーマシーの設置推進のほか、地域連携薬局等に係る税制優遇措置の創設要望、地域での医療原資を確保する為の薬剤師確保体制整備の要望など多くの事項に対して、薬剤師会の活動や考え方にご理解ご協力を頂ける党派を超えた国会、府議会、市町村議会の各種議員や首長の陳情活動及び意見交換を積極的に行っており、一部についてはその成果が見られるところまできております。

また、特に診療報酬改定において、医科・歯科・調剤の公平な配分比率(1:1.1:0.3)を維持するためには、日常業務における薬剤師の努力はもちろんのこと、その努力を国政の場に力強く発信する必要があります。政治力とはまさにその手段にあたるものです。

薬剤師職能のアピールとして、公益性を担う団体の薬剤師会会員が市民・府民の各種啓発活動を行うことは非常に重要ですが、そのような活動も薬剤師自身の経済的基盤と社会的地位が認知されているからこそ出来るものと考えます。

薬剤師と政治の結びつきがご理解戴けず、政治自体に関心を持たれない方もおられるとは思いますが、一番大切なことは、自分たちの職域、職能、環境、経済基盤、或いは家族を守るために主張し、それを法律や制度に結び付けるのは誰なのかと云うことです。

誰かが守ってくれるから自分は関わらなくてもいい、誰か政治が好きな人がやれば良いという考えを持たれる方が増えるほど、薬剤師にとって未来は暗いものになります。

薬剤師の立場を守るのは、薬剤師以外に誰もおりませんし、誰も助けてくれません。

薬剤師連盟活動は、過去において諸先輩の薬剤師の方々が心血を注ぎ自らの大切なものを守ってきたことを踏まえ、薬学生が安心して薬剤師の道に進めるようにするため、そして我々薬剤師が安心して働ける環境作りの一環でもありますので、この点を充分ご理解頂きたいと考えております。

来年もまた、新しい薬剤師が誕生します。大いなる夢と希望を抱いて頑張ってくれたいと思います。

自分たちの将来、そして後輩たちのためにも連盟活動にご支援ご協力をお願い致します。